

Z世代が考える農業・農村の課題解決策への道プロジェクト

- 農業土木学分野で学ぶ大学生(Z世代)が、これまで学修してきた知識を活かして環境教材を制作し、農業・農村の大切さについて次の世代に伝える
- 現地踏査や聞き取りを通して、農業・農村の実情を五感で捉える
 - 農業水利施設の維持管理
 - 農地の利用保全
 - 獣害対策
 - 都市と農村の交流
 - スマート農業
など
- ワークショップ形式の実習を通して、ファシリテーション力の修得を図る
 - 傾聴スキル, 対話スキル, 合意形成スキルの修得
 - チームビルディングからミッションの遂行



寸劇「米太郎」
コメができるまでの苦労を学ぶ

「食べ物をつくる水はどこから来るの？」
ダムや頭首工などの水利施設の働きを手を動かしながら学ぶ



「農村作成ゲーム」
双六形式で農地の保全, 獣害対策等を学ぶ

令和7年度 地域拠点サテライトを活用した地域共創プロジェクト

Z世代が考える農業・農村の 課題解決策への道プロジェクト

生物資源学研究科・共生環境学専攻

農業土木学講座

森本 英嗣・岡島 賢治

野村 廉士(非常勤講師)

プロジェクトのねらい



三重大大学新任教員ハンドブックより引用

- **地域住民・行政との対話を通じた学び（感じる力）**
 - 多様な主体⇨合意形成がむずかしい
 - 実務者（技術系公務員）の経験談
- **ワークショップ形式の実習を通して、合意形成・ファシリテーション力を修得（考える力）**
 - 多数決ではなく「多様決」に必要な傾聴，対話等の技術
- **農業・農村の現場，広報資料・教材づくり（コミュニケーション力）**
 - 土地改良区の広報資料づくり
 - 環境教育の教材づくり
- **農業・農村，農業土木の大切さをZ世代から α 世代へ教授（生きる力）**
 - これからキャリアを形成する社会に出るための準備と意識醸成

アルファ

農業土木とは・・・？

農業生産活動の ためのインフラ整備

・ 農業・農村の整備

・ 農業生産の基盤づくり

水源確保	情報通信環境	
農道整備	農地の区画整理	など

・ 快適な居住空間の整備

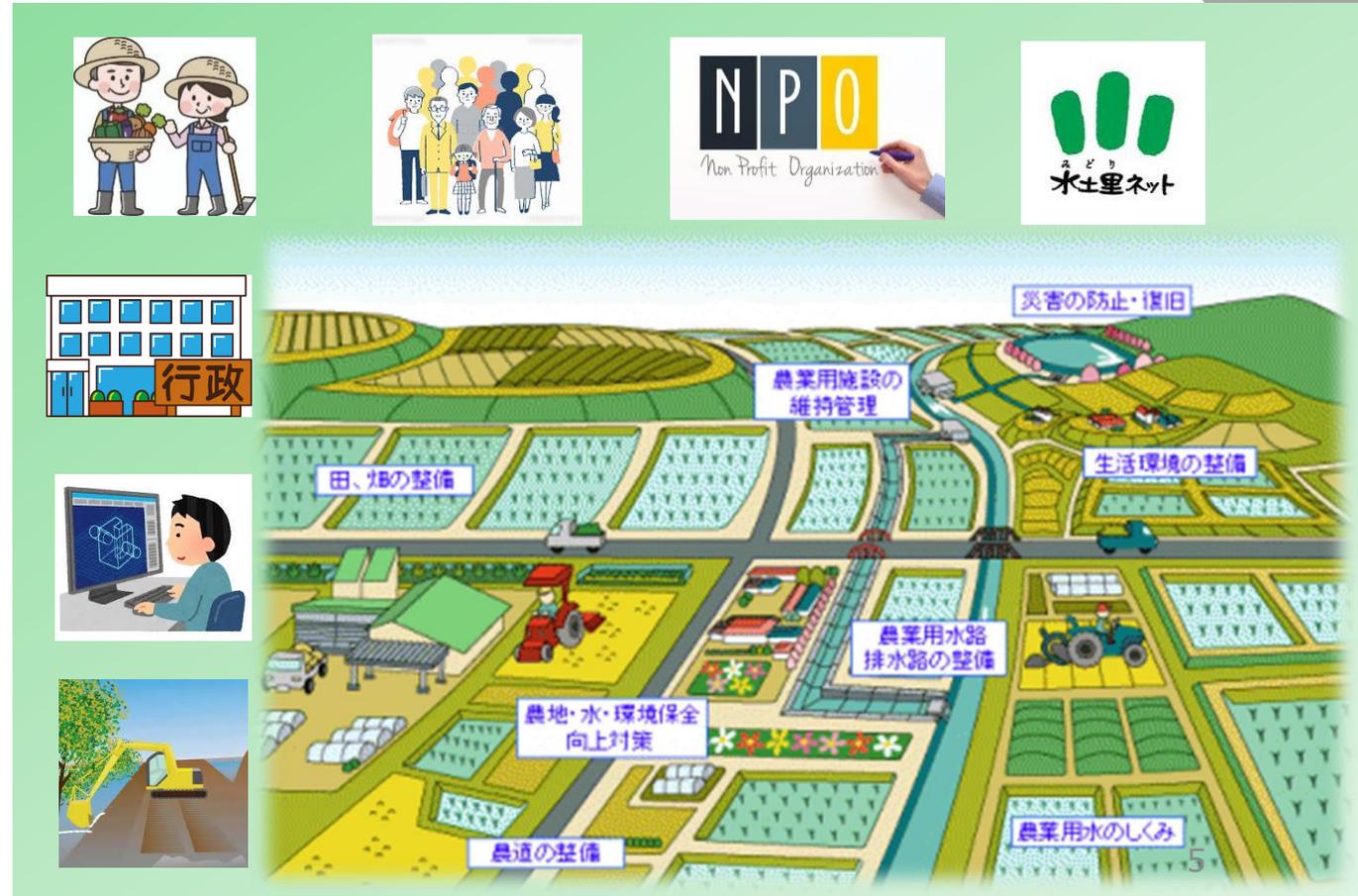
減災・防災対策	景観保全	
土地利用計画	獣害対策	など



農業・農村社会の多様性

多様なゆえに合意形成がむずかしい・・・

- **利害関係者**
 - 地域住民（農家・非農家）
 - 営農組合
 - NPO など
- **農業生産に係わる組織**
 - 行政
 - 水利組合
 - 土地改良区（農業用水管理団体） など
- **民間企業**
 - 設計業
 - 建設業 など



多様な主体≡合意形成がむずかしい・・・

• 農村社会での生産活動を維持するには・・・？

- 移住／定住／関係人口の増・・・？
- 施設の老朽化対策・・・？
- 歴史・文化の保存・・・？
- 空き家対策・・・？
などなど

• 課題も多様で対応策も地域固有



農業・農村の現場でどう対処するか・・・？



農村ワークショップ運営実習（3年生・後期）

回	日程	14:40～16:10（休憩10分）	16:20～17:50
01	10/03	ガイダンス, WS・ファシリテーション論, WS体験	
02	10/10	合意形成WS（ファシリテーター体験）	
03	10/17	チームビルディングWS（ファシリテーター体験）	
04	10/24	創造性WS（WSデザイン体験, アイスブレイク）／チーム編成	
05	11/07	立梅用水土地改良区でのフィールド体験（現地視察）	
06	11/14	宮川用水土地改良区（多気町）でのフィールド体験（現地視察）	
07	11/21	チーム毎にmissionに取り組む	
08	11/28	チーム毎にmissionに取り組む	
09	12/05	チーム毎にmissionに取り組む	
10	12/12	成果報告／中勢用水の取り組み説明・チーム編成	
11	12/19	チーム毎にmissionに取り組む	
12	01/09	チーム毎にmissionに取り組む	
13	01/16	チーム毎にmissionに取り組む／成果デモンストレーション	
14	01/23	成果発表	
15	02/07	津市立安東小学校・芸濃小学校にて授業	

ファシリテーション
スキルの学習

土地改良区の広報づくり

環境学習の教材づくり

ファシリテーションスキルの学習

・ ワークショップの実践

- ・ アイスブレイク
- ・ 傾聴スキル
- ・ 対話等の技術
- ・ KPT (Keep/Problem/Try)
- ・ Open/Closed Question

・ 農村社会の合意形成のプロセス

- ・ 多数決ではなく「多様決」
- ・ 技術系公務員による実経験談



土地改良区の広報計画づくり

課題: 地元の住民や農業とつながりがあり
よく知られていない・・・orz

• 土地改良区の仕事を知らせてもらおう!

- 農業用水利施設の維持管理
- 1年間の仕事内容
- 関連イベント



コメ作りや土地改良区の仕事に係るイベントが記されたカレンダー

• 地域活性化プロジェクトを考えよう!

- スマートビレッジ／農業のための情報通信基盤のあり方
- 関係人口構築に向けた情報発信
- 5年後の地域の姿 (未来予想図)



農村のスマート化に向けてWiFiを拡張する方法を提案

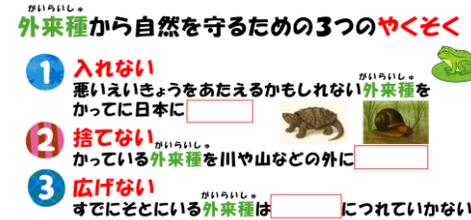
環境学習の教材づくり

● 農業・農村の大切さを知ろう！

- 農業生産に必要な水
 - 水を使うための工夫や施設（ダムや水路）の働き
- 農業生産を続けることで維持される自然・生活環境
 - 生物多様性（在来種／外来種）
 - 防災（田んぼダム）

● 新しい農業・農村の姿

- スマート農業／DX（見える化）



小学生の感想

授業でどんなことを知ることができましたか？

- 農業は大変でむずかしいことがわかった
- 農業についてもっと知りたくなったし
- 農業のひとのきもちがとてもわかりました。
- 農業のひとにはかんしゃ（感謝）。
- 水の大切さがよくわかりました。
- みらい（未来）の道具がカッコよかった。
- とてもわかりやすかったし、とても楽しかった。また来てほしいです。
- 農業っておもしろいですね。
- 農業をしている私のおばあちゃんがすごいと思いました。

などなど

みんなの気持ちを点で書いて下さい。

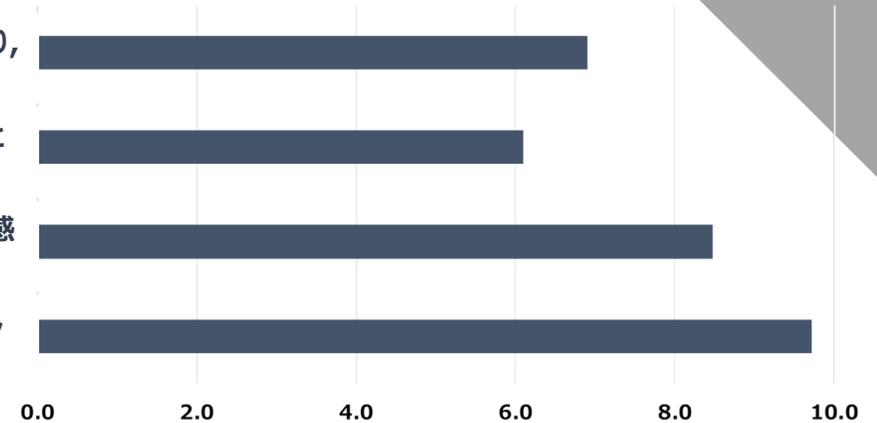
「とても思う」を10点、「ぜんぜん思わない」を0点として書いて下さい。

農業についてもっと知ったり、勉強したくなりましたか？

将来、農業をしたいと思いましたか？

農業っておもしろいなあと感じましたか？

農業の大切さがわかりましたか？



大学生の感想

- 子供たちの前で短い時間でしたが授業することができ貴重な経験となりました。元気な子供達でうまく発表できなかったですがとても面白い時間でした。
- 小学生に講義を行うことは予定通りに進まないものだと感じた。臨機応変に対応する力をつけていく必要があるなと感じた。
- 完璧なものできたかと言われると全然足りなかった。しかし、問いかけや同意を求める形で進めていくことで発表するだけよりも理解をしてもらえたかなと思う。
- こどもたちの反応が良くてやりやすかった。時間もギリギリまで使うことができた。農業に対するイメージは、少し変えることができたと思う。やってよかった。
- 想定していたよりもグループワークに時間がかかってしまうなど、ハプニングがあったが柔軟に対応できた。小学生のみんなからの反応もよく、練習よりも緊張せずにできたので、伝えたかったことを伝えることができた。
- 授業お準備しながら農業について理解を高めることができました。また、初めての劇で気まずいと思いましたけどチームメンバーと一緒に解決していった、コミュニケーションができました。
- 小学生の4人グループを1人でまとめられるか、うまくファシリテーションができるか、不安があったが、自ら答えてくれる小学生が多く、やりやすかった。また、最初に自己紹介や好きな食べ物を答えてもらうことで、名指しで当てたり、その後のグループワークが進めやすくなったりしました。

番外編

- 環境教育教材の利用／パネル展示による農業土木分野の広報
 - 第29回大師の里彦左衛門のあじさいまつり（多気町） 2025/06/08（日）



「生きモンゲットだぜ！」(かるた)
在来種と外来種を学ぶ



「農村作成ゲーム」(人生ゲーム)
農地の保全, 獣害対策等を学ぶ



「農業土木とは・・・？」(パネル展示)

ご清聴ありがとうございました



本プロジェクトにご協力賜りました、宮川用水土地改良区、立梅用水土地改良区、中勢用水土地改良区、津市立安東小学校、津市立芸濃小学校、合同会社ピリリ、多気町、津市教育委員会、三重県農林水産部農山漁村づくり課の皆様には厚く御礼申し上げます。
